



伊豆の国市立葦山中学校 学校だより

学校教育目標

『明日に希望を持ち今日を頑張る生徒』

重点目標

『かしこく考え やさしく接し たくましく生活する』

葦中だより

住所:伊豆の国市葦山393

電話番号: 055-949-1061

令和元年5月7日発行

第6号

人の心を温かくする行い!

伊豆の国市立葦山中学校長 手島雅事

毎朝、学校入り口の横断歩道の所に立っていると、様々な人となりを見ることが出来ます。朝早くから、雨の日も風の日も変わることなく、子供たちの交通安全のために立ってくださっている交通指導員さんと大森先生。子供たちが横断歩道に来るたびに「おはようございます」と声をかけてくれています。そして、信号機が黄色から赤に変わると、腕を大きく出して自家用車へ注意を促します。二人とも信号機歩行者専用ボタンは意図的に押しません。自己責任のもと、歩行者である子供たちが押します。でも、他の歩行者が来たときや登校時刻(7:50)が近づいた時には、大森先生がさりげなくボタンを押します。その心遣いがなんとなく嬉しく思うのは私だけでしょうか。また、信号待ちの自家用車の方に「ありがとう」と会釈すると、それに答えるように軽く頭を下げて応えてくれる運転手の方々。自転車通学の葦山高校生には「いってらっしゃい」と声をかけます。やはり、「いってきます」と会釈で応えてくれる、これもまた心がほっこりする瞬間です。

さらに嬉しい光景があります。2年生のある生徒のことです。彼は横断歩道を渡る前に交通指導員さんに立ち止まって「おはようございます」と一礼、渡りきった後に、大森先生の方を向いて、必ず立ち止まって「おはようございます」と一礼、そして私の方を向いて同じようにしてから学校に向かいます。この所作を、彼は当たり前のごとくして毎日欠かさず行っているのです。本当に感心するばかりです。

先日、PTA役員さんから「校長先生が南小の横断歩道で挨拶運動をしていた時に出勤する方に対して『いってらっしゃい』と声をかけられていたそうですね。実はその人は私の知り合いなんです」と…世間は狭いものです。私たちが何気なくしている行為が相手にとってどんな気持ちになるのか、少なくともいいことだと思えることはやっていきたいですね。



岩崎学校図書館司書さんと図書ボランティアの皆さんが「生徒が本に親しみ、読書量を増やすことができる」ようにと、図書館環境を整えてくださっています。〇〇コーナーに配置された本を手にする生徒の姿が目につくことができます。読書好きな生徒にしていきたいです。さて、写真の藤の花、すごいです。折紙紙で作ってあります。



土や植物とふれあう楽しさ！

7組の子供たちが職員室前の花壇の土を耕し、その土を使って苗木を植える作業を行いました。上級生が下級生に「こうやるんだよ」と、手を取りながら教えている姿はとても頼もしくあり、微笑ましくもありました。作業学習を通して、人との関わりや自然を慈しみ、楽しむ心など、学びも深まります。

子供たちが植えてくれた苗木がぐんぐん生長してくれることを楽しみにしています。



清掃は心を込めてやります！

黙働清掃がスタートして約1ヶ月が過ぎようとしています。清掃の始まりは黙想からです。心を落ち着かせて10分間の清掃開始です。校舎内外からほとんど話し声が聞こえてきません。そして、清掃後には班で振り返りを行います。3年2組学級通信にこの振り返りの記事が掲載されていました。「静寂な空気の中、全員がそれぞれの場所で真剣に活動する様子がとても印象的です。振り返りでこんな声が聞こえてきました。『から拭きをするときには、ほうきで取りこぼした細かいゴミを教室の前方へと送りながら拭いた方がよりきれいになるね』など、自分たちなりのルールを決め、効率性を考えて取り組んでいます」と。今後、清掃活動を通して生徒の主体性や協力が高まっていく、そして心磨きにつながっていくことを期待します。

公式戦の盛り！ついで中体連へ！

写真は東部会長杯バスケットボール大会の一場面です。さすが公式戦になると緊張感が違います。ゴールが入るたびに歓声が沸き起こり、それがさらに活気



を生み、選手たちに力を与えています。また、ベンチワークも戦略にはなくてはならないものです。ベンチからの仲間の声援がたくさん聞こえてきました。チームが一丸となり精一杯の力を発揮していきたいです。

保護者の方からのご意見・感想

()年()組() (生徒名)

※体罰やいじめ等教育活動の中で気になる点や心配なことについても遠慮なくお知らせください。